

「雨ニモマケズ」を 教科書・パロディ・二次創作：

誤読^{ごどく}

する

第16回 北大人文学カフェ

2015年7月4日（土）15:00～16:30

- 場 所 紀伊國屋書店札幌本店 sapporo55 ビル インナーガーデン
- 定 員 約100名 参加費無料、事前予約不要。
当日直接会場にお越しください。
- 主 催 北海道大学大学院文学研究科・人文学カフェ実行委員会
- 連絡先 北海道大学大学院文学研究科 研究推進室
TEL: 011-706-4083 E-mail: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

「雨ニモマケズ」は、ふと手帳に記した宮沢賢治のつぶやき／ツイートであったかもしれませんが、それが、なぜこんなに有名になったのでしょうか。そして、有名になるまでにさまざま“誤読”されてきました。原文の書き換えをはじめとして、「雨ニモマケズ」論争や、「雨ニモマケズ」の大衆文化への浸透など、「雨ニモマケズ」がどのように受容され、“誤読”されてきたのか、その歴史を現代までたどりたいと思います。

“誤読”には、創造的な“誤読”も含まれます。「雨ニモマケズ」のパロディ歌や二次創作が今日においてもさまざまな形で広がっています。作品の“誤読”の歴史を調べ、そのような解釈を求めた読者の（無意識の）願望や時代背景を探るのも文学研究のひとつです。そして、原文に立ち返り、「雨ニモマケズ」のひとつひとつの言葉につまずきながら、私たちも“誤読”を実践しましょう。

《話し手のプロフィール》

押野 武志（おしの・たけし）さん

北海道大学大学院文学研究科 映像・表現文化論講座 教授
〔日本近代文学・表象文化論〕

一九六五年、山形県生まれ。山形大学人文学部卒、東北大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。博士（文学）。広島文教女子大学専任講師を経て現職。著書に『宮沢賢治の美学』（翰林書房）、『童貞としての宮沢賢治』（ちくま新書）、『文学の権能——漱石・賢治・安吾の系譜』（翰林書房）、編著に『日本探偵小説を読む——偏光と挑発のミステリ史』（北海道大学出版会）、『コレクション・モダン都市文化 第八巻 札幌の都市空間』（ゆまに書房）、『日本サブカルチャーを読む——銀河鉄道の夜からAKB48まで』（北海道大学出版会）など。



北大人文学カフェとは

北大人文学カフェは、北海道大学大学院文学研究科の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文科学研究の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究科との交流を深めていくことを目指しています。

《お問い合わせ先》

北海道大学大学院文学研究科 研究推進室
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
TEL: 011-706-4083
E-mail: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

人文学カフェウェブサイト

<http://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>